

第53回福島県中学校長会研究協議会相双大会

【第3分科会】

よりよく生きようとする意思や 能力を育む道德教育の充実

岩瀬支会：天栄村立天栄中学校長 市川知広

道德教育において校長が果たす役割

各学校においては、校長の方針の下に、校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行うように努めるものとする。

道徳教育において校長が果たす役割

道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（道徳教育推進教師）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開すること。

中学校学習指導要領 第1章 総則 「第6 道徳教育に関する配慮事項」

道徳教育において校長が果たす役割

学級担任の教師が行うことを原則とするが、校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実すること。

中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳
「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」

研究の方向・視点

視点 1

道徳的諸価値についての理解と、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

- ・ 要としての道徳科
- ・ 道徳的価値に迫る多様な経験
- ・ 道徳性を養う機会の位置付け
- ・ 情報モラルに関する指導



**教育課程の工夫、改善
(カリキュラム・マネジメント)**

研究の方向・視点

視点 2

生徒自ら考え理解し、主体的に道徳性を育むための指導と評価の工夫

- ・ 考え議論する授業の展開
- ・ 多様な指導方法の工夫
- ・ 振り返りの工夫
- ・ 評価の充実・工夫



**・「考え・議論する」授業の実現
・指導と評価の一体化**

研究の方向・視点

視点 3 道德教育推進教師を中心とした協力的な指導体制の充実

- ・ 道德教育推進教師のリーダーシップ
- ・ 機能的な協力体制の整備
- ・ 外部人材や地域素材の活用
- ・ 学校、家庭、地域ぐるみの取組



・ 推進教師を核とした指導体制の充実
・ 家庭や地域社会との連携

研究の方向・視点

視点 4 「ひとづくり・きずなづくり・ふるさとへの誇りと自信づくり」のための道德教育の充実

- ・ 震災後の生徒の心のケア
- ・ 復興へ前向きに生き抜く力
- ・ 学校や地域の実態を踏まえた課題設定
- ・ 重点目標、指導の重点の明確化



・ 学校の特色や他教科等との関連
・ ふるさと教育や現代的な課題との関連を図った指導

現状調査

(1) 視点1

- ① 校長として、道德教育の基本的な方針を明確に示している。
- ② 生徒や学校、地域の実態に応じて、重点内容項目を設定している。
- ③ 各教科、体験活動等との関連を図れるよう、指導の内容及び時期を工夫している。
- ④ 発達段階に即した計画的・発展的な指導が行えるよう工夫している。
- ⑤ 道德科の時間を核として生徒の道德性を育むために、別葉の作成・活用を図っている。

現状調査

(2) 視点2

- ① 多面的・多角的に考え議論する授業が展開されている。
- ② 生徒が道德的価値を内面的に自覚できるよう、指導方法を工夫している。
- ③ 生徒の発達や個に応じた指導方法を工夫している。
- ④ 自分のよさや可能性に気づいたり、自らの成長を実感したりできるような振り返りを工夫している。
- ⑤ 道德科の評価について、評価場面や方法を工夫し、評価の妥当性や信頼性の担保に努めている。

現状調査

(3) 視点3

- ① 道德教育推進教師の役割を明確にしている。
- ② 道德教育推進教師を中心に指導体制の充実が図られている。
- ③ 道德科の授業に校長や教頭、他の教師の協力的指導が実践されている。（ローテーション道德等）
- ④ 道德科の授業を積極的に公開したり、保護者や地域の人々の参加や協力などが得られるよう工夫したりしている。
- ⑤ 生徒の道德性を育むために、外部人材を活用している。（ゲストティーチャー等）

現状調査

(4) 視点4

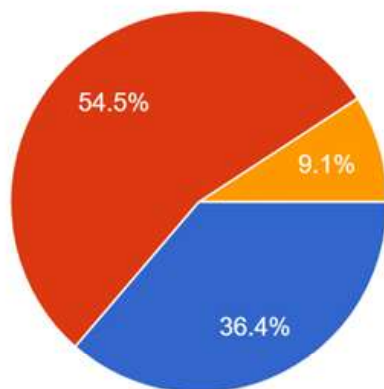
- ① 道德教育に関する情報を家庭や地域に積極的に発信している。
- ② 情報モラルに関する指導を道德科の指導計画に位置付け、指導の充実を図っている。
- ③ 特色ある教育活動や学校行事、各教科等との関連を図った指導を工夫している。
- ④ 各地域に根ざした郷土資料等、多様な教材の開発や地域素材等を活用している。
- ⑤ 「ふくしま道德教育資料集」などを活用するなど「福島ならではの」の道德教育を実践している。

現状調査

(1) 評価結果の高い項目

① 校長として、道德教育の基本的な方針を明確に示している。

11 件の回答



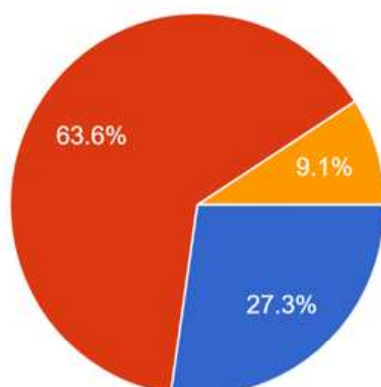
- よく当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(1) 評価結果の高い項目

② 生徒や学校、地域の実態に応じて、重点内容項目を設定している。

11 件の回答



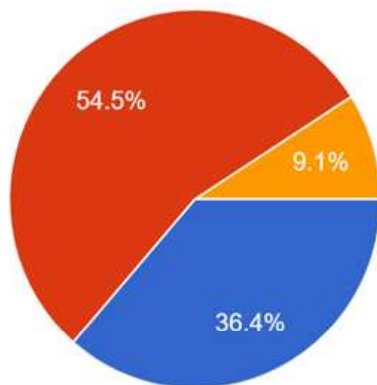
- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(1) 評価結果の高い項目

- ③ 各教科等、体験活動等との関連を図れるよう、指導の内容及び時期を工夫している。

11 件の回答



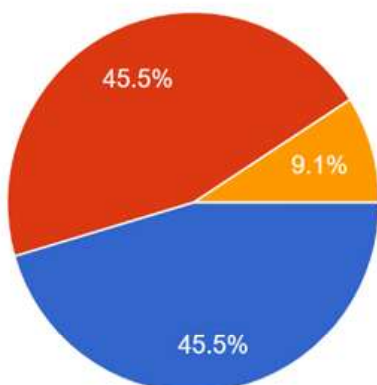
- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(1) 評価結果の高い項目

- ② 情報モラルに関する指導を道徳科の指導計画に位置付け、指導の充実を図っている。

11 件の回答



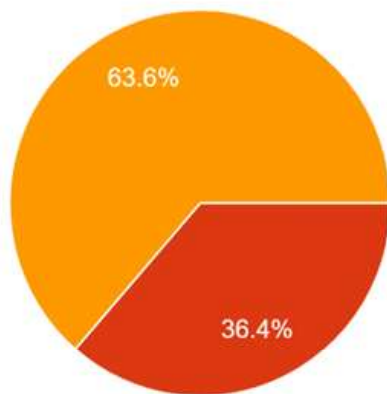
- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(2) 評価結果の低い項目

② 道徳教育推進教師を中心に指導体制の充実が図られている。

11 件の回答



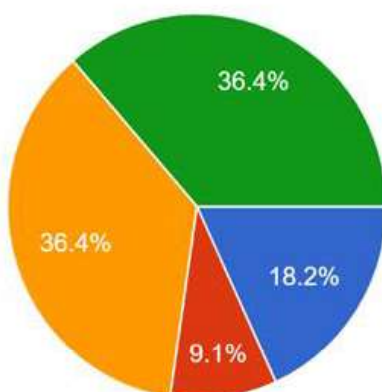
- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(2) 評価結果の低い項目

③ 道徳科の授業に校長や教頭、他の教師の協力的指導が実践されている。(ローテーション道徳等)

11 件の回答



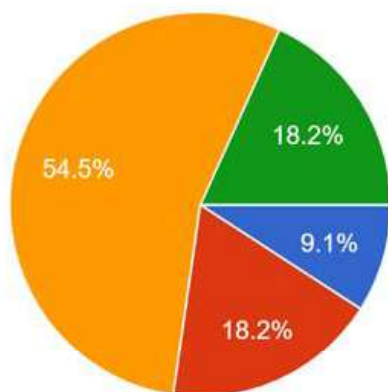
- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

現状調査

(2) 評価結果の低い項目

⑤ 生徒の道徳性を育むために、外部人材（ゲストティーチャー等）を活用している。

11 件の回答



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

研究の方向性

<岩瀬地区における共通の課題>

- 予測困難な社会を前向きに、たくましく生き抜く力の育成
- 道徳教育推進教師を中心とし、学校全体で道徳教育に取り組む体制の充実
- 子どもたちの道徳性や人格の育成のため、家庭や地域社会と連携した取組の推進

研究の方向性

研究テーマ

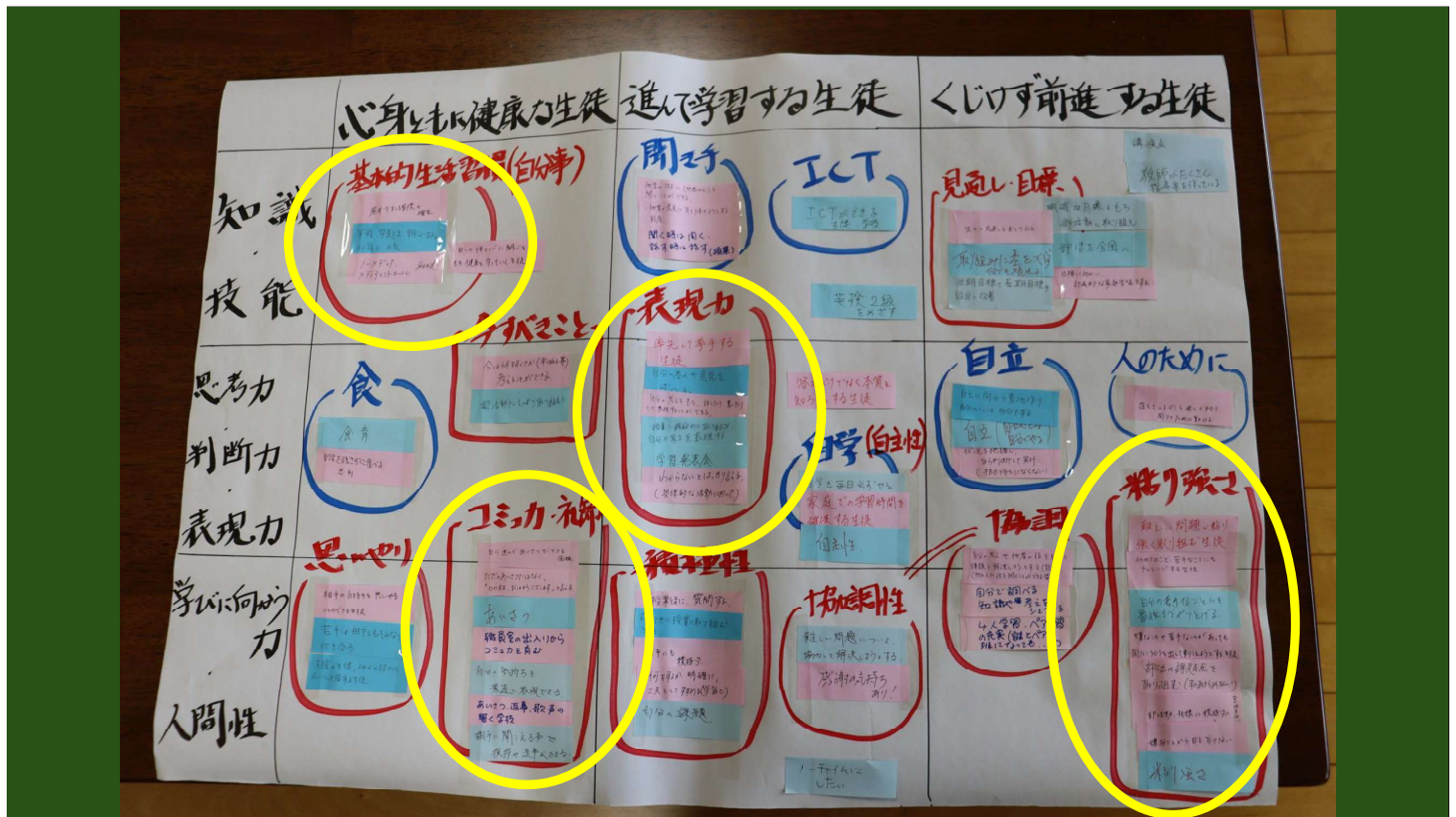
学校・地域ぐるみの 道德教育の創造

具体的な実践

(1) 校長の明確な方針

- 全職員で具体的な「目指す子どもの姿」を共有し、学校経営グランドデザインの見直しと改善を図った。

	心身ともに健康な生徒	進んで学習する生徒	くじけず前進する生徒
知識・技能			
思考力 判断力 表現力等			
学びに向かう力・人間性等			



第7次福島県総合教育計画 目指すべき姿 個人と社会の Well-being (一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ) の実現	教育目標	保護者・地域の願い ○安心・安全に学べる学校
県中教育事務所 スローガン 子どもの「ゆめ」、保護者の願いがかなう教育の推進		向上)と個性の伸長 人材の育成
天栄村教育委員会 基本理念 村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ 地域コミュニティを核とした天栄がからでる少人数		業の ルの育成
<めざす生徒像> ○ 基本的生活習慣 (挨拶、時間、身だしなみ等) が身に付いた生徒 ○ 自分の思いや考えを表現できる生徒 ○ 夢や目標に向けて粘り強くやり抜く生徒	<めざす生徒像> ○ 基本的生活習慣 (挨拶、時間、身だしなみ等) が身に付いた生徒 ○ 自分の思いや考えを表現できる生徒 ○ 夢や目標に向けて粘り強くやり抜く生徒	教師像> に対する情熱と使 づ教師 研鑽に努め、協働 合い、高め合う 一人一人に寄り添 られる教師
重点1 確かな学力の育成 「教え」から「学び」への転換 ①わかる・できる・楽しい授業の実践 ・学習のゆあて、課題の明確化 ・達成感を味わう「振り返り」の位置付け ②表現力の育成 ・対話のある「学び」の実践 ・表現する場の確保も「聞く力」の育成 ③探究的な学びの充実 ・総合的な学習の時間と教科等との往還 ・「ふるさと・夢プロジェクト」の充実 ④個別最適な学びの充実 ・少人数のよさを生かした個別指導の充実 ・ICTの有効活用 ⑤読書力の育成 ・朝読書、家読書の推進 ・図書館経営の充実 ⑥家庭学習の習慣化 ・授業と結びつけた学習課題の設定 ・自己マネジメント力の育成	・いじめを許さない集団の育成 ・不登校傾向生徒への支援の充実	と学校づくり り協働、助け合い 校づくり 連携を図った健康管 療率の向上) 徒の育成 した教育活動の展開 'イネータ活用等) ジェクト」による、ふ 実 り な対応の徹底 よる情報発信 した学校づくり 分の持ち味や専門性 る職場の実現 ・チームとしてお互いが支え合う、風通し のよい職場づくり

○ 教職員の声を丁寧に拾い上げていったことで、教職員が自分達の学校を自分達の手で作っていく意識が高まった。

○ 教職員が納得感をもって方針を受け止めることにつながった。

具体的な実践

(2) 全教員が参画する体制づくり

○ 道徳推進教師が中心となり、全教員が各学年 1 回道徳の授業を実施する。

それぞれの教員が得意とする分野や価値項目等を考慮し調整する。

	校長	教頭	1 年 副担	2 年 副担	3 年 副担	担任外 合計	担任	年間 時数
1 学年	1	1	1	1	1	5	30	35
2 学年	1	1	1	1	1	5	30	35
3 学年	1	1	1	1	1	5	30	35
計	3	3	3	3	3			

授業後の子ども達の感想をいくつか紹介します。

- 自分で決めた目標に向かってあきらめずに努力することが大切だなんて改めて感じられたし、自分の気持ちで将来が決まるので、今の頑張りをあきらめずに立ち向かおうと思えた。
- 「自分自身に絶対に負けない。」私は発表会などですごく経験したので、これからもこの言葉を忘れずに頑張っていきたい。
- 未来を決めるのは自分で、今のうちに行動しておかないと、後々大変になってしまうと思った。
- カッコイイことはいくらでも言えるけど、行動に移すのはとても難しいから、僕はそれをやってみたいと思いました。
- 努力したり、自分の目標を持ち続けたりすることは難しいことだけど、自分の夢や目標をあきらめずに、我慢して挑戦し続けることが大切だと学んだ。
- 夢の大切さやあきらめないことの難しさを改めて感じる事ができた。自分はこれからも挑戦し続け、何事にもくじけないようにしようと思った。
- 自分の敵は自分自身で、何事も強い意思をもって挑戦し続けることが大切だと学びました。これから、つらくてあきらめてしまいたい時があっても、挑戦していきたいです。

今回も、子ども達の“素敵な考え”や“純粋な思い”に触れることができ、幸せな気持ちになることができました。これだから、道徳の授業は止められません。

- **全教員が道徳科の授業を行うことで、生徒との信頼関係の構築につながった。**
- **先生ならではの良さを生かし、多様な価値観に触れることができる。**
- **道徳の授業が、子ども・家庭・教師をつなぐ架け橋となった。**

具体的な実践

(3) 各教科、体験活動等との関連 (カリキュラムマネジメント)

○ 道徳科の授業だけでなく、全教育活動、体験的な活動とつながりを持たせた取組によって道徳性の浸透を図る。

○ 道徳の授業で扱ったテーマに関連する体験活動を計画し、授業で得た学びを体験活動に活かし、体験活動で得た学びを道徳の授業で深めるという双方向の関係を築く。

道徳と教科等との関連 中学校3学年 年間カリキュラム									
教科他/月		4月	5月	6月	7、8月	9月	10月	11月	12月
道 徳 年間32時間 週1時間	学習名	25「自分を考える力ー幾田賢斗」	31「地域を愛するプロサッカーリーグ」	6「いじめから目をそむけない」	33「青春をのびて」	26「スマホに夢中！」	34「ハッチを開けて、知らない世界へ」	5「私の好きなもの」	32「足袋の季節」
	内容 項目	P-022 よりよ（おきる輝び）	C-110 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	A-022 内部項目	C-114 家族愛、家庭生活の形成	A-02 家庭、感動	C-021 感動、鳥獣の命	A-04 希望と夢、死と生、愛	P-022 よりよ（おきる輝び）
	特質	実話、感動	作文、感動	生活、知見	文学、感動	生活、知見	随想、感動	生活、感動	随想、感動
	関連	保健体育、学級活動、総合的な学習の時間	社会、音楽、学校行事、総合的な学習の時間	学級活動、生徒会活動	家庭、学級活動	保健体育、学級活動	理科	社会、理科、保健体育、特別活動	社会、数学
学校行事	学習名	27「言葉おしめ」	23「伝えたいことがある」	11「自分をアップデートーHIKAKIN」	19「あわぜ！おたがいの『ちがいを認め合おう』」	13「くちびるに歌をもて」	22「好きな仕事で安定かなやんでいる」	30「加山さんの顔」	23「伝えたいことがある」
	内容 項目	B-07 礼儀	C-110 公正、公平、社会正義	A-03 向上心、個性の伸張	B-09 相互理解、寛容	C-113 勤労	C-112 社会参画、公共の精神	C-110 公正、公平、社会正義	C-110 公正、公平、社会正義
	特質	随想、知見	生活、感動	作文、感動	生活、知見	文学、感動	論説、感動	生活、感動	随想、感動
	関連	国語、学級活動、総合的な学習の時間	学級活動	学級活動、生徒会活動、教育相談	国語、学級活動、生徒会活動、部活動	社会、音楽、英語、部活動、音楽会	総合的な学習の時間、学級活動	総合的な学習の時間、生徒会活動	社会、総合的な学習の時間
特別活動	学習名	12「たんばば作事所」	4「ある日の午後から」	35「一冊の漫画雑誌」	7「合格通知」	14「人間の命とは」	2「二つの手紙」	17「輪生の着」	24「きれいな川」
	内容 項目	C-113 勤労	A-01 自主、自律、自由と責任	B-08 思いやり、感謝	B-08 友情、憧れ	C-110 遠慮精神、公儀心	B-08 友情、憧れ	C-020 自然環境	
	特質	生活、感動	生活、感動	実話、感動	作文、感動	実話、感動	生活、感動	随想、感動	実話、知見
	関連	学級活動	技術、学級活動	国語	学級活動	保健体育、総合的な学習の時間	学級活動	音楽、学級活動	社会、理科、総合的な学習の時間
総合的な学習の時間	学習名	21「その子の世界、私の世界」	10「早稲刈り」				20「缶コーヒ」	20「誇らーい 私たちが出会う新しい私たち」	
	内容 項目	C-110 自然環境、自然保護	A-02 希望、感動				C-110 遠慮精神、公儀心	B-08 友情、憧れ	
	特質	文学、知見	生活、感動				生活、感動	文学、感動	
	関連	国語、社会、家庭、生徒会活動	保健体育、学級活動、部活動				学級活動	技術、学級活動	
特別活動	学習名	入学式 A-(4) B-(7) 身体測定 A-(2) 避難訓練 A-(2) D-(13) 内科検診 D-(19)	県中体連陸上大会 A-(4) B-(6) 歯科検診 D-(19)	支部中体連総合大会 A-(4) B-(6) 喫煙防止教室 A-(2) 眼科検診 D-(19) 人権教室 C-(11) 修学旅行・学習旅行 B-(8) C-(10) D-(12) C-(15) 1学期期末テスト A-(4)	1学期終業式 A-(2) B-(7) 2学期始業式 A-(2) B-(7) 全校合唱に向けて A-(4) C-(15) D-(21) 全校集会 A-(2) 人権教室 C-(11) クリスマス運動会 C-(12)	支部駅伝大会 A-(4) C-(15) 支部中体連新人戦 A-(4) B-(6)	避難訓練 A-(2) D-(19) 文化祭 A-(1) A-(3)	教育相談 A-(3) 2学期期末テスト A-(4) クリーン活動 C-(12)	全校集会 A-(2) 支援学校との交流会 B-(9) 2学期終業式 A-(2) B-(7)
	学習名	新入生歓迎会 B-(6) 前期専門委員会任命式 C-(15) 新年度目標の設定 A-(4) 新年度組織の決定 C-(15)	生徒会総会 A-(1) C-(15) 自分の個性を考える A-(3) 学校図書館の利用 A-(5) 県中陸上大会壮行会 B-(6) 支部中体連総合大会壮行会 B-(6)		専門委員会 C-(15) 1学期の反省と来年度の生活 A-(2)	新人戦壮行会 B-(6) 専門委員会 C-(15) 生徒会役員選挙 A-(1) C-(15) 後期専門委員会任命式 C-(15) 後期組織の決定 C-(15) 望ましい学習の進め方 A-(2)		上級学校について知ろう A-(3)	専門委員会 C-(15) 基金活動 B-(6)
	学習名		農業体験 放射線学習	修学旅行に向けて 修学旅行のまとめ			文化祭	キャリア教育講演会	特別支援学校との交流 しめ縄作り
	学習名								

安定	30「加山さんの願い」	23「佐
	C-(12) 社会参画、公共の精神	C-(1)
	生活、葛藤	実話、
間、	総合的な学習の時間、	社会、
	生徒会活動	
	17「増生の宿」	24「き
息心	B-(6) 思いやり、感謝	D-(20)
	随想、感動	実話、
	音楽、学級活動	社会、
		総合的
	20「語らいー私たちが出会	
	会う新しい私たち」	
熱心	B-(8) 友情、信頼	
	文学、葛藤	
	技術、学級活動	
(19)	教育相談A-(9)	全校集
	2学期期末テスト A-(4)	文芸学
	クリーン活動C-(12)	2学期

30 「加山さんの願い」

C- (12) 社会参画、公共の精神



クリーン活動

校長として、体験活動が効果的に行われるように、

① 体験活動の質の向上

体験活動の目的を明確にし、事前・事後の学習計画を丁寧に作成するよう指導。外部の専門家を招いたり、先進校の事例を共有したりすることで、教員の指導力向上を図る。

② 安全管理の徹底

体験活動における安全対策を最優先に考え、教員への研修やマニュアルの作成、事前のリスクアセスメントなどを徹底する。

③ 体験場所の確保と連携

学校内だけでなく、地域の事業所や県、各自治体の施設など、多様な体験活動の場を確保するために、関係機関との連携を強化する。

具体的な実践

(4) 地域との連携を図った取組①

道徳科の授業を通して、郷土について理解し、郷土の魅力を実感し、誇りをもつことができるようになった子ども達が、納税の額について調べた。さらに魅力的な返礼品やその紹介をすることができれば、全国魅力を発信できると考え、関係機関と連携して、返礼品の考案やふるさと納税に関するHPのリニューアルに関わる活動を通じて、郷土に対する愛着を強めている。

具体的な実践

(4) 地域との連携を図った取組②

○ 道徳科と総合的な学習の時間の関連を図り、探究学習として、自分達ができる、ふるさとへの「恩返し」を考えた。

- ・ 幼稚園や老人ホームを訪問し交流する。
- ・ 過去に開催されていた村民運動会を復活開催する。
- ・ 村のお祭りに出演、出店する。
- ・ 観光旅行プランを提案する。
- ・ PR動画を作成する。

校長としての関わり

学校内外のファシリテーション

学校内外の様々な関係者とのコミュニケーションを図り、関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する。

○子どもや教職員の意見を丁寧に聞く。

（安心して相談できる環境づくり）

○学校としての思いを関係者に説明する。

（合意形成のサポート）

○最終的な意思決定

（的確な状況判断と決断）

研究の成果と課題

(1) 成果

○ 現状調査を通して、岩瀬地区の道德教育に関する状況を把握することができた。

○ 道德教育における校長としての意識や指導体制・指導方法の在り方を共有することができた。

○ 校長の具体的な方針の下、指導体制の充実が図られてきている。

○ 家庭・地域との連携を図り、特色ある教育活動や体験活動と関連させた道德教育を推進しようとする取組が進んできている。

研究の成果と課題

(2) 課題

- 道德教育の推進と改善のために推進教師を生かし、育てるための校長としての関わり。
- 家庭・地域との連携を図り、特色ある道德教育をさらに推進すること。
- 教員一人一人の授業力向上への関わりと生徒の成長を認め、励ます評価の充実。
- 校長等に異動があっても、自走できる組織体制の構築。